

部局名	財務部	所属名	管財課	所属長名	蜂谷 昇	電 話	483-1151 内線3330
-----	-----	-----	-----	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4042		事務事業名称	営繕事務事業						短縮コード	経常	4042	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	財産管理費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		会計法、地方自治法								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
会計法、地方自治法により契約の適正な履行を確保するための、市の施設における建設、改修等に伴う工事の調査・設計施工及び監督。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために							
大規模施設の老朽化が進んでいるが、財政事情により改修費が確保できない。 公共工事コスト削減対策H11～					大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進							
					中 項 目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立							
					小項目（施策）	03	土地等市有財産の適切な管理と有効活用の推進							
					細 項 目	02	市有財産の有効活用の推進							
				実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	新築、増改築に係わる市有建築物							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 建設、改修に伴う工事の調査、設計、監督、使用材料、施工単価、施工方法についての精査及び施工管理							
	※平成20年度に計画していること： 1 9 年度同様							
意図 （何を狙っているのか）	計画された施設が適正に設計、施工される							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	新築、増改築の依頼件数	件	32	23	32	31	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	設計、監督件数	件	32	23	32	31	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	設計、監督、依頼件数	%	123	100	139	100	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4042	事務事業名称	営繕事務事業				所属名	管財課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			最善の設計、管理等を行っており、今後も現状を継続していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			O A機器等の活用をすでに実施している。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
耐震診断、OA化、バリアフリー等の要望がでている。	

所属長コメント	本事業は、公共施設の維持管理として、全体計画の中で目的及び財政状況を踏まえ、随時推進する必要がある。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		